

令和元年度 高蔵小学校便り

たかくらだより

学力特集号

令和元年11月 1日
北九州市立高蔵小学校

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	平均正答率は全国平均を上回っています。「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語に関する事項」においては良好な状況にありますが、「書くこと」に課題が見られます。書くことを習慣化できるような取組を継続する必要があると考えます。
算数	平均正答率は全国平均を上回っています。「数の計算」「量と測定」「図形」においては良好な状況にありますが、「数量関係」にやや課題があります。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日あたり60分以上勉強している児童の割合は昨年度に比べて増加しています。学校の宿題にもきちんと取り組めていますが、自分で計画的に学習を行う習慣はまだ定着していないようです。 ・読書は好きという児童の割合が、全国平均より高くなっています。昼休みや放課後、学校が休みの日に学校図書館や、地域の図書館を利用する児童の割合も増えています。週に1回、全校で取り組んでいる読書タイムなどの活動が有効であったと考えます。 ・学校のきまりを守っているという児童の割合は全国平均より高くなっており、規範意識は高いといえます。 ・将来の夢や希望をもっている児童の割合は、全国平均より高くなっています。それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結び付けさせることが必要であると考えます。 ・自分にはよいところがあると答えた児童の割合は若干減少しており、依然として自尊心が低い傾向にあります。児童の成長を認め、適宜称賛するとともに、互いのよさを伝え合えるような場を設定していく必要があると考えます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・朝自習の時間を使って、水曜日の計算タイム、木曜日の読書タイム(読み聞かせ)、金曜日の音読タイムを全校一斉に実施します。
- ・『『わかる授業』づくり5つのポイント』を確実にとおさえた授業を繰り返し実践します。
- ・基礎的・基本的な学習の定着や、個に応じた指導の充実のために、放課後の時間(週1～2回)を利用して、定期的な補充学習の時間を設けます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用した自主学習を推進します。また、学年通信や学校通信を通じて学習時間、学習内容、学習方法などについて具体的に児童及び保護者の方へ啓発を行っていきます。
- ・あいさつ運動や、なかよしデーなど縦割りグループを活用した活動に継続的に取り組むことで、自尊心が高まるようにします。